

都立飛鳥高等学校

受検から卒業までに必要な経費（概要）とQ&A

令和4年6月版

※金額は令和4年度のものであります。

飛鳥高校へ入学を希望している生徒・保護者の皆さん。
受検から卒業までにどの位費用がかかるかご存じですか？

受検時の入学考査料から卒業時のアルバム代まで、楽しく高校生活を送り、希望の進路を実現させるための一般的な費用をお知らせします。

1 受検から合格発表まで

入試出願の際には、**入学考査料**（¥2,200円）が必要となります。
ただし、推薦に基づく入試において、一般推薦と文化スポーツ推薦を併願される方は、それぞれ入学考査料が必要となりますのでご注意ください。

※併願の場合は、一般推薦入学考査料（¥2,200円）と文化スポーツ推薦入学考査料（¥2,200円）の合計¥4,400円となります。

受検後、合格された方には、合格発表の翌日から5日以内に**入学料**（¥5,650円）を納入していただきます。

※金額は改定される場合もあります。

入学手続き後に、**制服・体育用品**の採寸を行います。その場では購入申込と採寸のみ行い、代金のお支払いは積立金より支払いとなります。価格は表1のとおりです。

2 入学式まで

入学手続き時にお渡しする「入学関係書類」に同封の「払込取扱票」にて、**入学時一時金**（¥50,000円）をゆうちょ銀行で払込していただきます。

3 入学から卒業まで

各学年の授業に必要な教材やテスト・検定試験料、奉仕体験合宿や修学旅行にかかる費用などが必要となります。(表2をご覧ください。)

これらの費用は、学校で取りまとめ一括して各業者へ支払いを行いますので、購入や行事実施の契約以前に集めておかなければなりません。

その都度集金を行う場合、一人でも納入が遅れると契約ができなくなってしまうため、**学校徴収金**(入学一時金や積立金)として計画的に納めていただき、授業や行事に支障が出ないようにしています。

また、併せて**生徒会活動やPTA活動に必要な費用**として、それぞれ年間の会費(生徒会費¥5,000円,PTA会費¥5,000円)を納めていただいています。

尚、**授業料**については高等学校等就学支援金制度により、「区市町村民税の課税標準額×6%－区市町村民税の調整控除額」が30万4,200円(年収910万円程度)未満の世帯に、授業料の支援として就学支援金が支給されます。

※ 申請が必要となりますのでご注意ください

4 飛鳥高校で必要な3年間の費用(概算) 表3参照

受検から卒業までにかかる費用は、入学前(約126,000円)及び入学後(約580,000円)となり、**概算で約70万6千円**が必要な費用となります。

この他に、受益者負担として部活動にかかる経費(部費や合宿費)なども必要となります。

5 積立金から支出する経費の内訳は、表2を参照して下さい。

表1 入学前に必要な購入物品・その他の経費

項目		男子	女子	備考	
入学関係費	入学考査料	¥2,200		注1・令和3年度の金額であり、額が改定になることがあります。	
	入学料	¥5,650			
	授業料	¥118,800		注2・授業料については、就学支援金制度があります	
	入学一時金	¥50,000			
	入学関係費 合計	¥176,650			
指定購入品	制服（ブレザー）	22,660/22,880	22,000/22,220	2社から選択	
	制服（スラックス）	11,990/12,595	13,200		
	制服（ネクタイ）	1,980			
	制服（スカート）		13,200/13,310		
	制服（リボン）		1,320		
	半袖デザインシャツ（スノーホワイト）刺繍入り	4,290			
	半袖オーバーブラウス（サラシ）刺繍入り		5,610		
自由指定品	長袖シャツ（サックス）刺繍入り		3,740		
	長袖シャツ（ピンク）刺繍入り		3,740		
	夏スラックス	11,220	12,320		
	夏スカート		12,980		
推奨品	Vネックセーター（紺）	6,600			
その他学用品	校章	480			入学一時金（50,000円）より支払い
	体育館履き	3,700			
	グラウンドシューズ	4,300			
	白衣	1,390			
	水着	1,400	2,600		
	水泳帽	400			
	トレーニングシャツ	3,200		着払いにより配送	
	トレーニングパンツ	2,600			
	ハーフパンツ	1,900			
	半袖シャツ	1,300			
	教科書（必修）	27,234		代引きによる支払い	
	教科書（選択・音楽）	478			
	教科書（選択・美術）	1,069			
	教科書（選択・工芸）	866			
教科書（選択・書道）	938				
鞆	6,600				

表2 積立金から支出する経費（1学年）

項目	予算額		備考
	総額	一人当たり	
集合写真	94,000	400	
HR合宿費用	4,700,000	20,000	写真・看護師代含む
校章	98,700	420	
日本スポーツ振興センター共済掛金	303,150	1,290	
飛鳥ハンドブック	23,500	100	
教科教材費	1,292,500	5,500	
模試代金	3,290,000	14,000	進研模試 スタディーサポート・小論文
適性検査	258,500	1,100	実務出版 SG式進学適性検査DASH
芸術鑑賞教室	2,115,000	9,000	
奉仕体験授業	470,000	2,000	救急救命講習費含む
Classi	930,600	3,960	
TGG	749,650	3,190	
体育館履き	869,500	3,700	
グラウンドシューズ	1,010,500	4,300	
水着	611,000	2,600	女子2,600 男子1,400
水泳帽	94,000	400	
白衣	326,650	1,390	
予備費	117,500	500	
次年度繰越	20,245,250	86,150	修学旅行費用等として
合計	37,600,000	160,000	

※令和4年度の金額であり、各年度により詳細は異なります。

表3 飛鳥高校3年間で必要な経費（試算）

項目	1学年	2学年	3学年	備考
入学考査料	2,200	—	—	
入学料	5,650	—	—	減免制度あり
授業料	118,800	118,800	118,800	就学支援金制度あり
教科書	27,234	5,000	1,500	
制服・体育用品等	85,450	—	—	女子（スカート）の場合
入学一時金	50,000	—	—	
積立金	110,000	90,000	50,000	
生徒会費	5,000	5,000	5,000	
P T A 会費	5,000	5,000	5,000	
合計	409,334	223,800	73,380	飛鳥高校3年間で必要な費用（概算） ¥706,514

Q & A

Q1 入学料の免除制度があると聞きました。手続き方法などを教えてください。

A1 入学料については、所得に応じて全額もしくは1/2を減額する減免制度があります。

申請制となっていますので、ご希望の方は合格発表の際に申し出て下さい。

申請により提出された書類を審査し、減免の可否が決定されます。

尚、申請受付期間は合格発表の翌日から5日間と短いため、必要な書類を用意していただく時間も考え、遅れないように申請して下さい。

Q2 入学一時金とは何ですか？

A2 積立金は、教材等の購入に充てたり、奉仕体験合宿の費用や修学旅行費用の積立てになりますが、入学直後に必要な教材等の費用がありませんので、入学前に一時金を納入していただき、その費用とします。

Q 3 学校徴収金はどのように徴収しますか？

A 3 入学準備として学校徴収金の納入口座をゆうちょ銀行に設けていただき、毎月初めに口座から引落しを行います。

引落しが出来ない場合、教材の購入や行事への参加ができなくなり、授業や学校生活に支障をきたしますのでご注意ください。

※ 引落しができず未納が生じた場合には、手紙・電話による督促を行うことが有ります。

参考として、令和4年度生の徴収予定は下記（表4）のようになっています。

表4

	引 落 日	金 額	内 訳
①	5月31日	25,000円	積立金 ¥ 21,000 生徒会費 ¥ 2,000 PTA 会費 ¥ 2,000
②	6月30日	25,000円	積立金 ¥ 21,000 生徒会費 ¥ 2,000 PTA 会費 ¥ 2,000
③	8月 1日	25,000円	積立金 ¥ 23,000 生徒会費 ¥ 1,000 PTA 会費 ¥ 1,000
④	8月31日	25,000円	積立金 ¥ 25,000
⑤	9月30日	20,000円	積立金 ¥ 20,000

Q 4 学校徴収金には減免制度がないのですか？

A 4 学校徴収金のうち積立金は、最終的に個人に帰属する物品や旅行代金の支払いに充てられますので、減免制度はありません。

また、生徒会費・PTA会費についても減免制度はありません。

経済的な理由で学校徴収金納入に困難がある場合は、奨学金等をご利用下さい。

Q5 奨学金にはどのようなものがありますか？

A5 在学中に申請可能な奨学金として、「東京都育英資金」の貸与型奨学金があります。希望される方は公益財団法人東京都私学財団（電話番号：03-5206-7929）へご相談下さい。

令和4年度の参考月額額は18,000円（無利子）となっています。

また、東京都独自の事業として、進路選択に係る経費等を都が代わりに負担をする「給付型奨学金」制度や、国の事業として教育費の負担を軽減するために保護者の口座に直接給付金（定額）を振り込む「奨学のための給付金」制度もございます。これらは入学後にご案内をさせていただきます。

その他、各区役所などが募集している奨学金や、母子家庭が対象の母子福祉基金などがありますので、各自治体へお問い合わせ下さい。

Q6 卒業後の進学のために奨学金はないのですか？

A6 進学後の奨学金として、第3学年時に学校を通じ「日本学生支援機構」の奨学金予約募集を行います。第1種（無利子）と第2種（有利子）の種類があります。

質問等のお問い合わせ先は・・・飛鳥高校 経営企画室 03-3913-5071